



岩泉町 小本漁業

の

岩手県岩泉町とは

岩手県の県都盛岡市の北東に位置する緑濃い山々に囲まれた山間地域と、美しい海に面する沿岸地域からなる人口約8,300人、総面積992.36平方キロメートルの本州一広い町です。

日本三大鍾乳洞のひとつ「龍泉洞」から湧き出る地底湖の水は世界でも有数の透明度を誇り、町の総面積の92%を占める森林が生み出す清らかな空気につつまれる、水と緑の豊かな町です。

岩泉町の漁業

海に面した小本地区で、北からすくどう須久洞漁港、小本漁港、茂師漁港の3漁港による海面漁業が行われています。小本浜漁業協同組合の自営定置網漁業のほか、漁船漁業（はえなわ延縄漁業、さしあみ刺網漁業、かご籠漁業等）、養殖業（ワカメ、コンブ）、採介藻漁業（さいかいそうアワビ、ウニ、ナマコ等）が営まれています。



《漁業の種類・獲れる魚》

定置網漁業

定置網漁業は、漁港から 20 分程度の場所で、海の中へ仕掛ける大きな網により魚を獲る漁業です。魚が泳いで来て網の奥に迷い込んだところを獲ります。
《獲れる魚》サケ、マス、ブリ、ショッコ、サバなど

《漁期》

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
漁期	休漁						漁期				
サケ			マス			サバ	ショッコ			サケ	

採介藻漁業

採介藻漁業は、岸に近い海で、カギやタモなどの漁具を使って、海底に生息するウニやアワビ、天然わかめ、天然こんぶ、まつもやふのりなどを獲る漁業です。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					ウニ					アワビ	
	まつも・ふのり			ワカメ				コンブ			



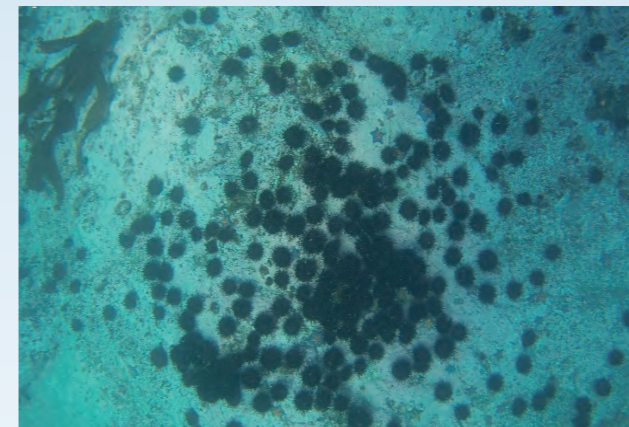
磯焼け対策の取組

採介藻漁業の中で、最も重要なアワビの水揚げは、近年、減少が続いています。その原因は、増えすぎたウニが引き起こす「磯焼け」と考えられています。

増えすぎた「ウニ」をアワビの漁場外へ移殖するとともに、移殖したウニの一部には餌を与え、身入りをよくすれば、やっかいものも資源として活用することができます。

そこで、令和3年度からウニに餌を与えて育てる、ウニの養殖実証試験に取り組んでいます。

※「磯焼け」…海藻が生い茂っていた海底で、海藻が減って少なくなったり、消えてなくなること。



岩場にウニが過剰に生息し、海藻が生えていません。



令和4年度はダイバーによるウニ潜水移殖を実施しました。



ウニは規格外のキャベツやコンブで育てました。



育てたウニは、生ウニとして浜の駅おもと愛土館で販売しました。

定置網漁のある一日

4:00 出港 (茂師漁港) ①

網のある場所には 20分程で到着!!

4:20 漁を開始 ②

海の中へ仕掛けてある網を引き揚げます

5:30 帰港 ④
宮古魚市場へ出荷

船の上で魚の選別をします

3 獲れた魚の選別

船の上で選別出来なかった分は帰港してから陸上で行います

魚の量が多い時は定置船で! 少ない時はトラックで運びます!



【延縄漁】

1本の幹縄に、多数の枝縄をつけ、この先端に釣り針をつけて、魚を獲る漁業です。

《獲れる魚》サケ、タラ

【刺網漁】

魚の通り道に網を仕掛け、その網に魚を絡めて獲る漁業です。魚が刺さったようになることから「刺網」と呼ばれます。魚種によって網目の大きさや獲る場所が異なります。

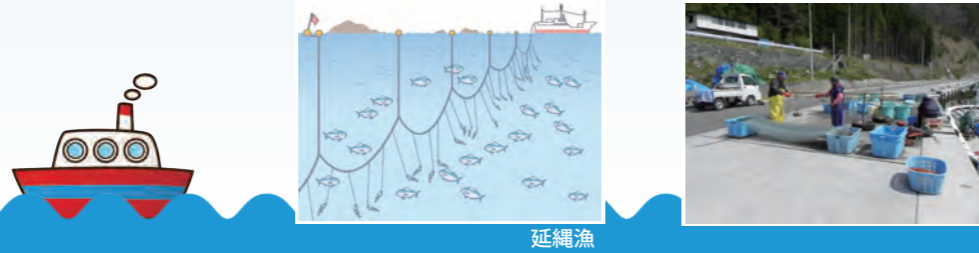
《獲れる魚》カレイ、毛ガニ、アイナメなど

【籠漁】

えさをとりつけたカゴを海底に仕掛け、匂いにつられて入ってきたたこやどんこを獲る漁業です。

【漁期】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延縄漁	タラ											サケ
刺網漁	カレイ			アイナメ等								
	毛ガニ											
籠漁	タコ											



【こんぶ養殖】

11月頃から2~3cm程度のコンブの種苗を、沖合で育てます。こんぶの大きさが数メートルになる6月末から8月にかけて、収穫を行います。

【わかめ養殖】

夏ごろから採苗を行い、採苗した種糸は、11月頃まで海中培養し、ワカメ種苗が3cm程度になるまで育った秋ごろに、沖合の養殖ロープに巻き付けて育てます。3月から5月にかけて、収穫を行います。4月が収穫の最盛期です。
※採苗…ワカメの胞子を放出させて、種糸に付着させる作業

【年間操業サイクル】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
こんぶ養殖	本養成					収穫		採苗・育成		沖出し・本養成		
わかめ養殖	本養成		収穫		採苗・海中培養				巻付・本養成			



《地元の漁師さんから》

わたしたちと小本浜の漁業を盛り上げましょう！



千葉明洋さん
定置網漁業
漁師歴7年

定置網漁は、地元の乗組員たちと一緒に協力して魚を獲ります。出港の時間は朝早く、天候が良くないときなど船の上での作業が大変な時もありますが、仲間と協力してたくさんの魚が獲れたときは、その分、喜びも大きいです。やりがいを感じられる仕事です。



三浦康広さん
養殖漁業
漁師歴15年

小本浜の海中でわかめとこんぶを育てています。自分の生まれ育った所で、わかめやこんぶを育て、それが生活の糧になっていることに誇りを感じます。小本のわかめは、荒い波にもまれているからか、身が引き締まっていて、シャキシャキしておいしいのが特徴です。



金澤卓也さん
採介藻漁業
漁師歴22年

農業をメインでやっていますが、ウニやアワビの口開けの日には、口開けを優先して漁に出ます。自分の頑張りしだいと獲れる量が変わってくるので、たくさん獲れたときは、とてもうれしいです。毎年、ウニやアワビの口開けの季節を楽しみにしています。



三浦善生さん
漁船漁業
漁師歴14年

漁船漁業の魅力は、獲った魚が自分の仕事の成果として目に見えることです。魚の獲れる量は自然に左右されますが、たくさん獲れたときは、大きな達成感を感じます。時期によって獲れる魚も変わってくるので、季節を感じることも魅力のひとつです。



大場彬央さん
三浦静香さん
漁協職員

小本浜の漁師は、優しく、楽しくて、かっこいいです。また、仲間意識や団結力も強く、漁をしている姿は、本当に素敵です。小本は、新鮮な魚を食べることができたり、活気のあるお祭りがあったり、とても魅力のある地域です。



佐藤信祐さん
浜の駅おもと愛土館店長

愛土館では地元で獲れた新鮮な魚介類や野菜などを販売しています。新鮮な魚介類をふんだんに使った海鮮丼や、川鮭を活用した鮭の燻製あらほぐしなどの自家製の加工品など、オススメの商品がたくさんあります。

岩泉町で漁業に就業するには・・・

①定置網漁業で乗組員として雇用される

乗組員のみんなと協力しながら魚を獲ります。漁業に興味はあるけれど、いきなり1人で漁するのは不安という人は、まずは定置網漁業から始めてみるのがおすすめです。

乗組員として雇用されながら、漁業についての知識や経験を増やすとともに、漁業を始める為の資金を貯めることができます。

②漁船漁業や養殖業で自立を目指す

定置網漁業での知識や経験、資金を元に漁船漁業や養殖業（ワカメ・コンブ）で自立を目指します。定置網漁業で漁業に従事しながら、養殖業や漁船漁業に従事するための情報収集などを行い、自分が将来やりたい漁業についてイメージを持つことが大切です。

養殖業や漁船漁業を経営するためには、小本地域に居住し、実績を積み、漁協の組合員になる必要があります。

漁業経験や知識がなくても挑戦できる「いわて水産アカデミー」

いわて水産アカデミーは、岩手県の漁業をリードする担い手を育成することを目的とした研修制度です。漁業経験や知識のない就業希望者が安心して漁業に就業できるよう、漁業就業に必要な知識や技術の習得のほか、小型船舶操縦士等の免許取得できる研修内容となっています。

漁師に
なり方
い
にゃー



詳しくはこちらの
ホームページをご覧ください。



令和5年3月発行
岩泉町漁業就業者育成協議会
(事務局：岩泉町農林水産課)

〒027-0595 岩泉町岩泉字惣畑 59 番地 5

TEL0194-22-2111